

第10回我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針策定委員会 会議概要

1. 日 時 : 平成25年6月1日(土) 9時30分から12時00分
2. 場 所 : 議会棟第一委員会室
3. 出席委員 : 坂口委員長/牛尾委員/金川委員/上村委員/倉橋委員/
小林委員/近藤委員/佐々木委員/新保委員/鈴木委員/
田島委員/多田委員/早川委員/山家委員/吉村委員/
渡邊委員
4. 事務局出席者 : 枝村市民生活部長/四家市民活動支援課長/
小池主査長/松島主任/渡邊主事
5. 欠席者 : 荒井委員、石井委員、服部委員
6. 会議内容
 - (1) 第2章地域コミュニティの将来像について
 - (2) 第6章地域コミュニティ活性化の仕組みについて
 - (3) 第7章行政の役割について
 - (4) 地域コミュニティ活性化基本方針素案たたき台(第2稿)について
7. 会議日程について
8. 傍聴人及び発言者の数 : 傍聴人1人 発言者の数0人
9. 決定事項
 - ・第11回策定委員会は6月23日(日)9時30分から12時00分に開催。
 - ・第12回策定委員会(最終回)は6月29日(土)9時30分から12時00分分に開
催。

◆議事の内容

●第2章 地域コミュニティの将来像について	
委員	地域コミュニティの定義が入ったことはわかりやすいと思うのですが、文章がわかりづらいと思います。地域コミュニティの意味として、「地域のつながりそのもの」と「地域のつながりの中でつながりやすくしていく活動」の二つがあるため、両方の意味があるということを書くべきだと思います。
委員	私も賛成します。地域コミュニティは人々が暮らす共同体であり、場であると考えています。「暮らしやすくしていくこと」という定義だと活動のことになってしまって、収まりが悪いと思います。
委員	下の図について質問なのですが、この二つある「コミュニティ活動」については、それぞれ異なる地域ということですか。そうであるならば、この図では、行政がそれらのコミュニティ活動と矢印でつながっていますが、地区間をつなぐ役割は行政が担うということですか。そもそも地域をつなげるべきかという議論もあるかと思いますが、私は、それらの地域をつなぐ組織もつくるべきと考えています。
事務局	二つの「コミュニティ活動」については、それぞれの地域の活動をイメージしています。行政と二つのコミュニティ活動をつなげている矢印は、行政がこれらの活動を下支えしているイメージとして書いており、つなぐという意味ではありません。こちらの図は、前回の策定委員会での「行政の立ち位置について図に記述がない」というご指摘を受けて修正したものです。おっしゃるとおり、地域間をつなぐという話についても議論する必要があると思いますので、そちらについては、作業部会で検討します。
委員	この二つあるコミュニティ活動については、それぞれ異なる地域であることが分かるようにしたほうがいいと思います。
委員	この二つの「コミュニティ活動」については、それぞれのブロックのところに「地域」といれるか、同じ図を上下に並べるなどの対応でいいと思います。「地域コミュ

	<p>ニティ」をどう考えるかについてですが、辞書的にどうかではなく、私たちがどう考えるかだと思います。入れ物としての地域コミュニティも、地域活動（はぐくみ）としての地域コミュニティも含む形で整理して、より広く地域コミュニティを捉えるのがいいと思います。</p>
委員	<p>「地域コミュニティ」という言葉はかなり広い解釈があると思いますが、この基本方針で扱うべきなのは、暮らしやすい、安心して生活できる、社会から孤立していないという状態を支えているものとして、地域コミュニティの力が重要であるということだと思います。人間が人間らしさを維持するためのものとして、地域コミュニティが市民生活に必要なだということを表現できる文章にしたいと考えています。</p>
委員長	<p>「地域にあったコミュニティづくり」という表現は、「地域コミュニティ」という表現とどういう関係になるのでしょうか。各地域で行われている地域活動を指すコミュニティという言葉と、ここで謳っている「地域コミュニティ」の定義を、両方書いていいのでしょうか。</p>
委員	<p>この基本方針において進もうとしている組織体を地域コミュニティと呼ぶということにすればいいと思います。</p>
委員	<p>この図やコミュニティの定義については、まだ作業部会で議論し尽くされていないので、今後検討します。</p>
委員長	<p>それでは、地域コミュニティの定義については、作業部会に一任することとします。</p>
<p>●第6章 地域コミュニティ活性化の仕組みについて</p>	
委員	<p>作業部会で出た意見について補足があります。まず、事務局を継続させるためには、人件費を確保する必要があると多くの作業部会委員から意見がありました。また、会議にかかる経費をどこが負担するのか、また事務局を誰が選ぶのか等についてもまだ決まっていません。今回は、それらの意見について具体的な案が決まらなかったために資料として出てきていないのだと思いますが、今後それらについても議論する必要があると思います。</p>
委員	<p>この基本方針の中で、施工規則までを詰めることは難しいと思います。具体的にどのように動かしていくかについては、方針が決まってからがいいと思います。また、</p>

	この図の中に「民生委員、児童委員」が入っていますが、ここだけ個人になってしまうので、民生委員・児童委員地区協議会と入れたほうがよいと思います。
委員	地域会議が地区毎やっていくとすると、この仕組みに当てはまらない団体（地域に限定されないスポーツ団体や地域をまたいでいる団体）などはどうするのですか。その意味で、地区ごとにまとまるものと、さらに上の組織として地区間をつなげる組織が必要なのではないかというのが、私の前からの意見です。
委員	どこの地域会議であっても、会議のテーマや課題に関連する団体として呼ばれた場合には、参加は可能であるため、問題ないと思います。
委員	各地域をつなげることをどこかの組織が行うのは難しいと思います。やる分にはかまわないのですが、ここまでの組織を集めるとなると、やはり行政の力が必要なのではないのでしょうか。
委員	私は、ここでの地域会議というものは、何かの課題が出てきた時に、それに関連する団体が集まって会議するというもので、常設するものではないと考えています。
委員長	これまでの議論を整理しますと、まず「地域協議会」という名称を変更して「地域会議」となりました。そして、地域会議の事務局の担い手について、作業部会案では構成する団体が行うこととしていますが、事務局機能は行政が行う方がいいのではないかという意見が出ています。
委員	地域会議は、例えば福祉の分野や防犯の分野などテーマ別に行うこともあるのかなと思っておりまして、その場合、テーマ毎にイニシアティブを持つ団体が中心になればいいのではないかと思います。地域会議が常設でないのであれば、テーマ別に事務局が変わるのもありだと思います。また、地域横断的な団体の参加についてですが、現在でも地区社協の活動において、横断的に活動している団体についても、委員の方が住んでいる地区で活動に参加してもらっているので、特に問題ないと思います。

委員	行政は、地域の団体から活動を起こすことを期待しているのだと思いますが、地域会議を招集するのは誰か、事務局をどのように決めるのかという部分があいまいになっています。また、地域会議は常設にやっついていかないと続かないと思います。
委員	それぞれの団体について十分に理解している人ではないと、相手にされないとします。自治会長の経験があるからといって、他の自治会長がその人に従うことは無いと思います。事務局は、行政がやるしかないのではないのでしょうか。
委員	地域会議を軌道に乗せるのは大変だと思います。事務局を誰が担うかということがまず一つ目の関門になると思いますが、実態として、地区社協やまち協などは長年活動しておりますし、その他ネットワーク組織もあり、これらの組織が基本となるのかなと思っています。また、形だけつくって機能しないという心配については、じっくり育てる形でやっついていけばいいのではないのでしょうか。そのために、モデル地区を選定して、検証しながら進める方法を提案しています。
委員	この地域会議を設ける目的が、未だによくわかりません。例えばその地域と比べて、防犯体制が弱いから、何か仕組みをつくるというはっきりした目的を持ってつくるのであれば、それは重要だと思いますが、ただの連絡機関であれば、それは事務局などをつくらなくても情報交換だけでいいので、あまり意味がないと思います。また、テーマ別の問題については地域に関係ないので、むしろ地域単位で考えないほうがいい問題もあると思います。テーマ型の全市横断的なものと地域会議には、切り分けて使い分けるのがいいと思います。
委員	質問なのですが、地域会議のモデル地域とはどのようなことを想定しているのですか。
委員	具体的には決まっています。
委員	11の地区を基本とするというのは、まちづくり協議会が事務局をやることを想定しているような印象を受けますが。
委員	特に、まちづくり協議会に限定しているわけではありま

	せん。
委員	私は、10のまちづくり協議会が「まちづくり協議会連合会(仮)」を作って、その代表を集めて、まち協が中心になって意見を出し合いながら情報共有を行う中で、必要な団体と呼ぶという形にするのがいいと思います。今のようないまいな形だと、誰が召集するのか、何人の人が集まるか等のイメージが付きません。
委員	現在も1年に1回、まちづくり協議会の集まりがありますが、言い合うだけで解決になりません。これを月1回やるとなると、ますます担い手がいなくなってしまうと思います。
委員	この図は、全体会議を想定しているものになっており、課題ごとの集まりという意味では、この図はその目的と合わないと思います。団体間の横の繋がりを強めるという意味では、このような形の図になるのだと思いますが、その意味ではこの会議はあまり意味がないと思います。地域会議を課題ごとの集まりとして機能させるのであれば、部会のような形で、さらにその下にテーマ毎の会議体を構成するような図である必要があると思います。
事務局	<p>前回の策定委員会の中で、地域会議については、みんなが課題解決のために語り合う必要があるという意見でまとまったと思っています。それを具体化したものが今回の案ですが、これは現在を想定しているのではなくて、もっと先の将来、さらに高齢化等の問題が進んでいる中で、地域のつながりをつくるものとして考えています。そして、これらの地域会議にも全ての団体が参加するものとも考えておりません。まずは、モデル地区を作って実践し、検証していく必要があると思います。基本方針では事務局に対して経費をどうするか、モデル地区をどう選ぶかなどの具体的なものではなくて、考え方をまとめられればいいと思っています。自分達の地域をどうするかというまちづくりを考えていける組織になればいいと思っています。</p> <p>民生委員・児童委員については、そのように修正します。また、全市的に活動している団体はどうするのかという意見については、11区域を想定していますが、課題ご</p>

	<p>とに全市的に活動している市民団体も地域ごとに関係があると思いますし、特定の地域に事務所を構えているところもあると思っており、それは事務所のある地域の地域会議に参加することを想定しています。まちづくり協議会が担えるかという点については、担えるところもあると思いますし、それは地域ごとに異なりますので、それは地域会議を始めていくときに地域ごとに決めていただければと思っています。</p> <p>基本方針では基本的な考え方を決めますが、がっちり決めるのではなくて、その時代に応じた形に修正していくものと想定しています。ここでは、地域にまとまりが必要であるかどうかという点について、確認がとれればと思っています。</p>
委員	<p>地域のまとめ役は必要だと思いますが、助成をするのであれば、一元化するべきではないかと思っています。確認ですが、まちづくり協議会は、他の組織と協議することはできないのですか。そのように規定で決められているのですか。</p>
委員	<p>私は、地域会議は必要だと思っています。今の議論は、それぞれの団体がしっかりしていることを前提とされていますが、実際はそうではありません。この地域会議によってまとまりやすくなるのではと思います。</p>
委員長	<p>地域会議の必要性については、みなさま異論はないかと思っています。しかし、誰が担うのかという点については、実際にモデル地区としてやっていく中で検証していくとしてあいまいにしておくか、それともこれを契機に予算を付けてでもいいから、まちづくり協議会に従事してもらおうかという意見に分かれており、検討する必要があります。</p>
委員	<p>このような場を持って情報交換をする機会を設けることはとても重要だと思いますが、このような会議を実行するためには、事務局をどこが担うかについては、はっきりさせる必要があると思います。行政のサポートもしっかりあるということなので、まちづくり協議会が担うこととしてはっきりさせたほうがいいと思います。</p>
委員	<p>まちづくり協議会の立場で意見を言わせていただくと、</p>

	<p>お金を渡されても活動は始まらないと思います。まちづくり協議会は結成されてから長い時間が経っていますが、担い手もいなかったし、何をしていたかもわからなかったというのが実態です。この地域会議の提案は、何か新たに始めようとしているのではなく、これまで地域で個別的にやっているものをまとめていき、パワーアップしていこうというものです。その意味で、まちづくり協議会に限定せず、地域ごとにこれまで活躍してきた団体が地域会議を進めていくかたちでいいと思います。</p>
委員	<p>例えば街路灯ひとつとっても、管理先が異なり、行政の部署も異なるため、各団体が自分達だけで解決することは難しいと思います。同じ場所で顔を突き合わせて方向性を考える場所がないと、地域は活性化しないと思います。このような、ゆるやかな集まりから始めてみて、徐々に進化させればいいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>なぜ、まちづくり協議会が地域会議の事務局になれないのか、そもそも設立の趣旨を考えるとまちづくり協議会自体が地域会議だと思うが、それができないのがなぜか理解できません。</p>
委員	<p>この地域会議の議論は、横のつながりをつくるためにどうするかという話だと思います。まちづくり協議会ができるか、できないかという話ではないと思います。地域を全体で捉えて、担えるところが担うということだと思います。</p>
委員長	<p>これらの意見をまとめて、作業部会で検討していただくよう、お願いいたします。</p>
<p>●第7章 行政の役割について</p>	
委員	<p>職員の地域の活動への積極的な参加とは、つまり職員の方にも何か役割を担っていただけるということですか。そうしていただくと、自治会等の団体の存続も可能だと思います。</p>
事務局	<p>ここでの積極的な参加とは、業務として行うのではなく、市内に住んでいる職員には、市民の一人としてしっかり地域活動に参加していただくということです。職員が全く地域に関わっていないというわけではありませんが、実際に出来ていない職員もいますし、今後はさらに積極</p>

	的に参加していただきたいということで、推進していき たいと考えています。
委員	「地域活動の参画きっかけづくり」がどこに含まれるの か、この文章ではわかりません。具体的な言葉があれば いいと思います。
事務局	きっかけづくりについては、既存事業の見直しに含まれ るものとして、記述しています。
委員	少しイメージがつきづらかったので、具体的な言葉があ ればいいと思います。
●地域コミュニティ活性化基本方針素案たたき台（第2編）について	
委員	20ページに自治会の加入に関する記述について、「我 孫子市に住むからには、自治会の参加と自治会費の払う ことを義務である」というような、もっと強く記述して いただきたいです。
事務局	コミュニティを考える問題として、自治会の加入率もそ うですが、加入していても、活動に参加する人が少ない ところに問題があると考え、このような文章にしていま す。
委員	44ページのところの福祉の部分の記述について、まず 地域の現状として地域間格差のことが書かれているが、 全国的な傾向とおなじ状況が我孫子でも起きていること を先に記述していくべきだと思います。また、活性化が 必要だというのは高齢化対策というところが最も大きい と思うが、市でもたとえば孤立死対策などの取組みを進 めていることを書いて、それでも足りないから、市民の 方にも協力してほしいという形で記述すると思います。 また、孤立死などの特別なことだけでなく、日常 生活を営むこと自体が困難な高齢者について、もっと重 点的に書いていくべきだと思います。
事務局	全体的な市の取り組みや、それぞれの地域での活動につ いて漏れているところもありますので、それぞれの活動 については、追加していきたいと思います。
委員	全体的な流れはこんな感じでいいと思いますが、感想と して文章が全体的に暗いと思います。人口の推移のとこ ろですと、人口が減少していくことによって、地域の関 係が濃密になるということもあるかもしれません。マイ

	<p>ナスなことばかりではなく、減少を前提として、どうしていくのかについての記述が欲しいです。一方で、5ページの「孤独死の問題が顕在化するおそれ」という文章は、「おそれ」じゃなく実際に起きているのだから、現実におきていることについては、直視するかたちで文章を書くべきだと思います。また、我孫子が手賀沼の問題から、市民も市も活動を行ってきた歴史について、第2稿では消えてしまっているので、これらの歩みはちゃんと記述してほしいと思います。全体として、もっと展望の見える文章にしてほしいです。</p>
事務局	<p>人口減少のところでの表現のお話をいただきましたが、人口減少や高齢化を受け入れて前向きに取り組んで意向ということは、作業部会でも議論がありました。</p> <p>また、我孫子市のコミュニティ活動の歴史については、我孫子市の市民活動だけではなく、自治会などの地域に密着した活動についてもしっかり記述していきたいという意図で文章を書いています。まだまだ両方の活動について記述仕切れていない部分も多くありますので、今後修正を加えていきたいと思います。</p>
委員	<p>34ページの活動資金の記述について、民生委員・児童委員について補助金が出ているという感覚はありません。補助金の記述について違和感を持つので、表現に注意してほしいです。</p>
委員	<p>アンケート結果による活動資金について、足りているか足りていないかという部分について、足りているのではなく、足らしているのが本来の姿です。これらの誤解を招くものについて、記述の仕方を検討してほしいです。</p>
事務局	<p>アンケート結果について、そのまま記述すると、誤解を招く部分もあるので、修正していきます。</p>
●会議日程について	
事務局	<p>今月の会議日程は、第11回策定委員会は6月23日（日）9時半から12時に決定。最終策定委員会は6月29日（土）9時半から12時に決定。</p>